

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	松本医療福祉専門学校
設置者名	学校法人未来学舎

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉専門	介護福祉学科	夜・通信	521	160	
商業実務専門	医療秘書学科	夜・通信	405	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.mirai.ac.jp/information/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	松本医療福祉専門学校
設置者名	学校法人未来学舎

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.mirai.ac.jp/information/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	平成29年4月1日 ～ 令和3年3月31日	経営・財務・企業関係構築
非常勤	会社役員	平成29年4月1日～ 令和3年3月31日	経営・マーケティング
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	松本医療福祉専門学校
設置者名	学校法人未来学舎

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>・年2回（1月と9月）実施する教育課程編成委員会の検討事項をもとに2月に学内検討会を開き、3月中旬までに翌年度のカリキュラムを編成し、その後3月下旬までにシラバスを作成し、3月末までに、下記のWebページに公表する。</p>	
<p>授業計画の公表方法</p>	<p>介護福祉学科 http://www.mirai.ac.jp/information/pdf/mic/mic_mic_2019syllabus.pdf 医療秘書学科 http://www.mirai.ac.jp/information/pdf/mic/mic_bms_2019syllabus.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>科目修得の認定に関する規定は下記のとおり 学則（科目修得の認定） 第19条 各学年履修科目の修得認定は、次のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 各学年において出席時間数が、履修すべき授業時数の5分の4に満たない者については当該科目の履修の認定を行なわない。（ただし、状況に応じて補講等を行い履修の追加認定を行う場合がある。） 3. 講義科目においては、学期末及び学年末における修得認定試験等を行い、合格者に対して当該科目の修得を認定する。 4. 演習科目及び実習科目においては、演習時及び実習時の学生の平素の成績を評価し修得を認定する。 5. 修得試験等成績評価については、別に定める内規による。 <p>(別に定める内規) <学生便覧> (学習評価) 第5条 評価は原則として科目毎にその終了時に行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 就職年次生は就職活動に際して成績証明書が必要な場合があるため、前期終了日までに受講中の科目について中間評価を出し、証明書の前期評価欄に記入することがある。 3. 評価は科目試験、出科率、授業態度、課題・レポート状況などにより総合的に評価される。 4. 評価はA・B・C・Dの4段階とする。 5. 評価基準は次の基準に従って評価し、A～Cの評価のものについてのみ、その科目の修得認定を行う。 	

<p>「3.」による成績が 80～100点はA 70～79点はB 60～69点はC 60点未満はD</p> <p>・各学生の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳正かつ適正に単位授与（または履修認定）を実施している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・各教科とも総合的な評価により、A, B, C, Dの評価を行い、各時間数と評価点（A：3点、B：2点、C：1点、D：0点）の積を科目時間数合計で除算し、GPAを算定している。</p> <p>・あらかじめ設定した算出方法によりGPA等の数値を算出している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.mirai.ac.jp/information/pdf/mic/mic_2019_shihyo.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・介護福祉学科 単位取得状況、出席率、国家試験模試状況などの総合的状況をもとに2月に判定会議を実施し卒業、進級を認定している。</p> <p>・医療秘書学科 単位取得状況、出席率、検定試験合格状況などの総合的状況をもとに2月に判定会議を実施し卒業、進級を認定している。</p> <p>・ディプロマ・ポリシー 本校では以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生は卒業が認定されます。</p> <p><介護福祉学科></p> <p>①想像力：体験や価値観の異なる他者の、人生や気持ちをイメージできる力 ②創造力：現状を受け入れるだけでなく、新たな方法や仕組みを考え生み出す力 ③関心力：人間及び社会の事象に対して、興味を抱き、関心を持つ力 ④表現力：言語的、非言語的に、自分の考えや気持ちを他者に伝えられる力 ⑤行動力：身につけた理念、知識、技術を活用して、実際の行動を起こす力</p> <p><医療秘書学科></p> <p>多職種が集まる医療機関において、チーム医療の一員として診療がスムーズに行えるよう様々な面からサポートの出来るよう下記①～③を柱とする能力を身につける。</p> <p>①ビジネスマナー、パソコンスキル、文書作成能力、コミュニケーション能力 ②医学的知識、医事関連法規、診療報酬等を中心に知識・技術に関する能力 ③高齢者施設、保育施設、医療機関見学・実習により、医療機関の仕事を学び、課題を明確にすることにより自己研鑽に努めることができる能力。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.mirai.ac.jp/information/pdf/mic/mic_2019_diploma.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	松本医療福祉専門学校
設置者名	学校法人未来学舎

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.mirai.ac.jp/information/pdf/zaimu/mirai-info01.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.mirai.ac.jp/information/pdf/zaimu/mirai-info01.pdf
財産目録	http://www.mirai.ac.jp/information/pdf/zaimu/mirai-info01.pdf
事業報告書	http://www.mirai.ac.jp/information/pdf/zaimu/mirai-info01.pdf
監事による監査報告(書)	http://www.mirai.ac.jp/information/pdf/zaimu/mirai-info01.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報_1

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門	介護福祉学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,325 単位時間/単位	705 単位時間/ 単位	990 単位時間/ 単位	630 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員 (平成31年度)	うち 留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		27人	1人	3人	3人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 人間と社会、介護、こころとからだのしくみ、医療的ケア各分野の指定科目の他に、当校独自の科目を設定し、実習と国家試験合格を柱に、講義、演習がスムーズに実習に結びつくような計画のもと授業を実践している。
成績評価の基準・方法
（概要） 期末試験他の総合評価により、A, B, C, Dの4段階評価

卒業・進級の認定基準
(概要) 学則 第 19, 20 条、別に定める内規 (学生便覧 第 5 条) に則り、2 月に判定会議を実施し、卒業・進級を認定している。
学修支援等
(概要) 適正な判断をもとに、補講、再試験などの学習機会も与えている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15 人 (100%)		15 人 (100%)	
(主な就職、業界等) 老健、特養、デイサービス、その他高齢者介護施設など、障害者施設など			
(就職指導内容) 就職実務の授業による全体指導、面談による個別指導、履歴書チェック、面接練習の個別指導、就職ラリーによる模擬就職試験指導			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 国家試験 100%合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 (平成 30 年度)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	2 人	6.7%
(中途退学の主な理由) 退学：進路変更 2 名 他に病気療養による休学が 1 名		
(中退防止・中退者支援のための取組) ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の保護者連絡、保護者面談 ③学校長・副校長・学科長面談		

①学科等の情報_2

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門	医療秘書学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,830 単位時間/単位	705 単位時間/ 単位	945 単位時間/ 単位	180 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員 (平成31年 度)	うち 留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		24人		3人	3人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 医療事務学習 (1年次では医療事務医科、2年次では医療事務歯科) と実習 (1年次末の保育施設、高齢者施設実習、2年次後期の病院実習、内定先実習) を2本柱に据えそれらに向けて総合的学習を進めて行く。
成績評価の基準・方法
(概要) 期末試験他の総合評価により、A, B, C, D の4段階評価
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則 第19, 20条、別に定める内規 (学生便覧 第5条) に則り、2月に判定会議を実施し、卒業・進級を認定している。
学修支援等
(概要) 適正な判断をもとに、補講、再試験などの学習機会も与えている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)		13人 (100%)	
(主な就職、業界等) 病院、診療所、歯科クリニック、調剤薬局など			
(就職指導内容) 就職実務の授業による全体指導、面談による個別指導、履歴書チェック、面接練習の個別指導、就職ラリーによる模擬就職試験指導			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 診療報酬請求事務医科 92% 医療事務管理士医科 100% 医療事務管理士歯科 100% 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状（平成 30 年度）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の保護者連絡、保護者面談 ③学校長・副校長・学部長面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉学科	160,000 円	700,000 円	230,000 円	施設設備費
医療秘書学科	160,000 円	580,000 円	200,000 円	施設設備費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.mirai.ac.jp/information/pdf/mic/mic-info01.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な評価項目 教育理念目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生受入募集財務、法令等の遵守、社会貢献、地域貢献 ・ 評価委員の構成 委員の定数4～6名、高齢者施設等関係者、病院・診療所等関係者、卒業生など ・ 評価結果の活用方法 評価委員会の実施は、年度終了後の4月または5月 6月以降に上記委員会の内容を受けて課題・改善案を検討し随時改善を実施。 改善実施の責任者は副校長 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
特別養護老人ホームやまびこの里 施設長	2019年4月1日～2021年3月31日	企業等委員
介護老人保健施設のむぎ 事務長	2019年4月1日～2021年3月31日	企業等委員
信州大学付属病院 総務課主査	2019年4月1日～2021年3月31日	企業等委員
松南病院 職員	2019年4月1日～2021年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.mirai.ac.jp/information/pdf/mic/mic-info02.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.mirai.ac.jp/mic/
--